

## 富士市 岩松保育園



いただきました。

日本三大急流の一つに数えられる富士川の氾濫を治めるために江戸時代に東岸に築堤されたのが富士市にある雁堤です。富士山を仰ぎ春は桜、夏は向日葵、秋にはコスモスや彼岸花が楽しめます。岩松保育園はその雁堤のすぐ近くにあり、季節を感じながらのお散歩によく出掛けるそうです。とても恵まれた自然環境の中にあります。四季折々、風を感じ、美しい風景を眺め、ときには虫を見つけたりというような楽しい経験や周りの大人の言葉掛けが子どもの五感に働きかけ、認識を助けます。

乳児組から入園するお子さんが多く、無垢

今回、東

部は富士市松岡地区にあります岩松保育園を取材させていただきました。コロナ禍もありましたので、電話等で取材をさせてい

## 園長 後藤 千春先生



な子ども達の世界を広げてあげることは大切だと、園長先生は語りま

もなく発達段階を逸脱することなく一人ひとりを受け止めその発達を促し保障していくことが大切と考えます。岩松保育園は、保育園としてこの地に開園して五六年になりました。改築し現在の園舎になって二〇年が経ちました。令和元年度より保育所型の認定こども園に移行し幼稚部が新たに加わりました。○歳児クラスから五歳児クラスまで定員七六名。園内環境で留意していることは保育室が安心してくつろげるお部屋であることだそう、毎日忙しく頑張っているらっしゃる保護者のみなさんにも玄関を入ったらホッ



するような雰囲気を感じています。「忙しい」「大変」なだけではなく、子育てが親子の幸せな時間であることを感じてほしいと思っていますし、そのお手伝いができればとも思っています。」とのことでした。園内の家庭的な雰囲気はそこから来るのかと感じました。園長先生に「今、保育業界に感じる事は？」と質問した所、「永くこの仕事をさせて頂いていますが社会が変わり保育行政も変わっていく様子を何度も経験してきました。しかし私達の目の前にいる子どもたちが、未来を背負っていくということはいつの時代も変わりません。なんと夢のあるやりがいのある仕事なのだろうと感じています。保育に関わる方々はずっと誇りに思っても良いと思います。又、この仕事に見合った社会的評価と給与も保証されるべきではないかと…」最後にコロナ禍の中、園長先生をはじめ、職員の皆様には、取材を受けて頂き、心よりお礼申し上げます。有難うございました。